

福島潟エリアにおけるモデルプロジェクト 実証実験 実施報告



新潟市北区観光協会

えちごエコネット協議会・自然環境活用部会

検討・実施事項

1. オープンカフェの実験・広報
2. えちごエコネットに関する普及啓発
3. 見どころ情報の提供（マイマップ）
4. オープンカフェの利用状況・関連ページへのアクセス状況
5. 来訪者意識調査
6. 食材としての、潟や田んぼの恵みの活用可能性
7. 関連したアクティビティ
8. 課題と今後の展開案

1. オープンカフェの実験・広報

- ・ 出店者 : ラグーンブリュワリー (電話注文に応じて近くの店舗から配達)
- ・ 営業期間 : 7月20日～11月下旬頃までを予定 (月曜定休・雨天閉店)



・ 椅子・テーブル等の配置 :

- ・ 7/5に関係者で現場合わせを実施し、柿の木の下に設置することで合意。
- ・ 日差しが強すぎたため、8月中旬に並木の下へ設置場所を変更。



設置場所



当初の設置場所



8月中旬以降の設置場所

・看板の設置・ 広報カードの配布：

- ・ オープンカフェを認知してもらうため、80×50cm程度のA型看板を9/2より設置。
- ・ 名刺サイズの広報カードを、9/23よりラグーンブリュワリーや菱風荘等に設置。



A型看板



広報カード（表）



広報カード（裏）

・ えちごエコネット ウェブサイトへの 掲載：

モデルプロジェクト
の紹介ページを作成
（2023/9/19～）

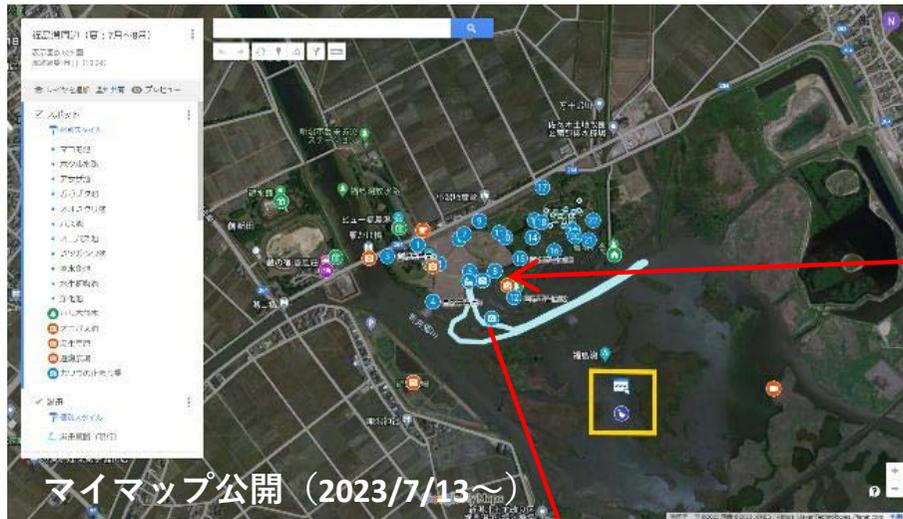
えちごエコネット

福島潟エリア
モデルプロジェクト
実証実験

自然豊かな福島潟。お茶を飲みながら、ゆっくりのんびり景色を楽しめる空間があればいいなあ。
そんな声にお応えし、新潟市や北区観光協会のご協力のもと、潟来亭のとなりへ試験的にオープンカフェを開きました。
テーブルや潟来亭の縁側に座って、福島潟の四季折々の景色、風、音、匂いを五感で堪能できます。
カフェメニューは福島潟近くのラグーンブリュワリーからデリバリーでお届け。
ぜひ、ステキなひとときを味わいに福島潟オープンカフェに訪れてみてはいかがでしょうか。

3. 見どころ情報の提供（マイマップ）

- 越後平野生態系ネットワークに係る資源等（観察ポイント等）や標柱番号について、
グーグルマイマップ（えちごエコネットのウェブサイト内に挿入済み）と連動させるとともに、
標柱やサインにQRコードを貼り付け。



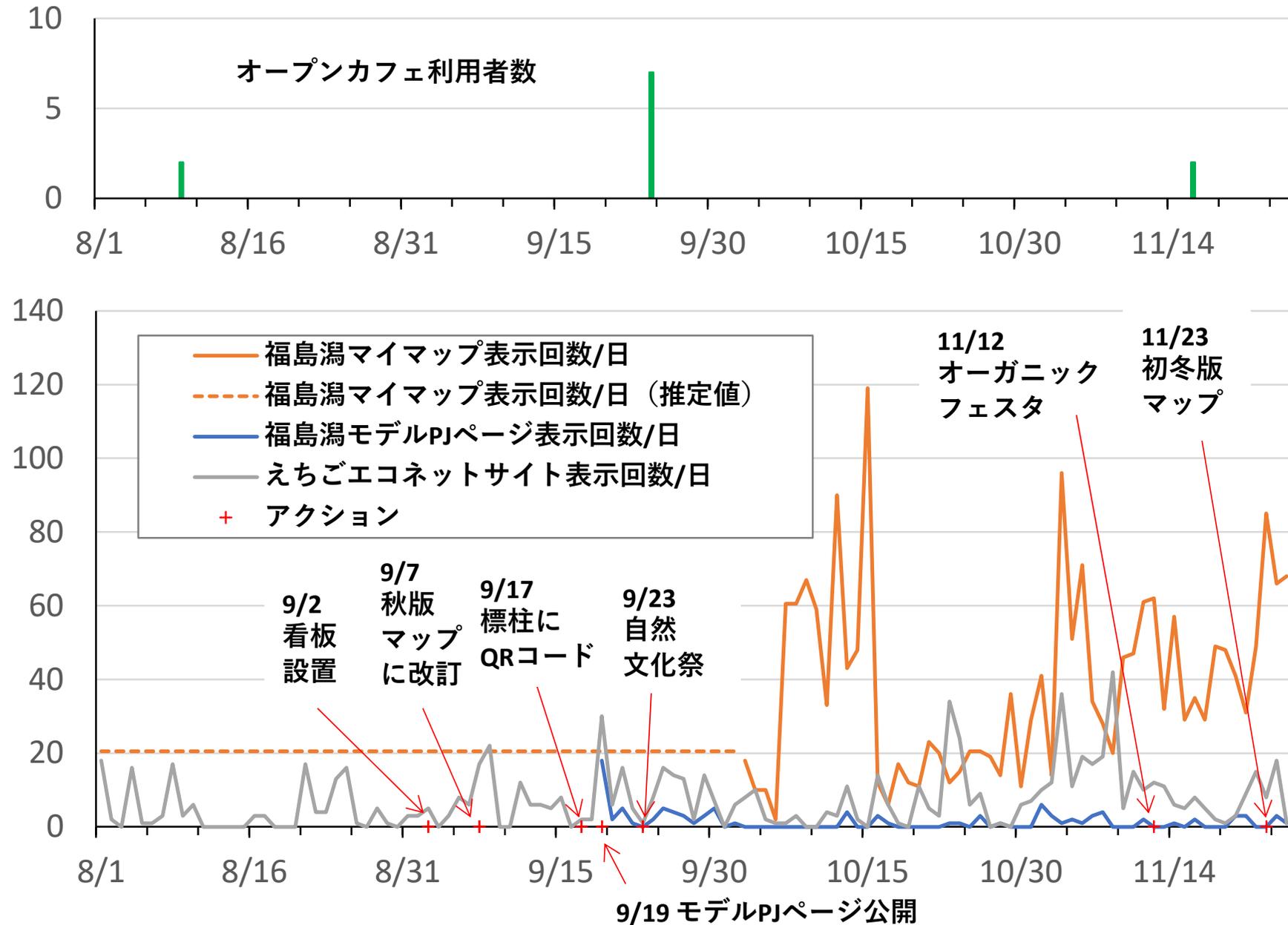
各ポイントにおいて、風景や動植物の写真を掲載



サインにQRコード
を貼り付け
(2023/9/17~)



4. オープンカフェの利用状況・関連ページへのアクセス状況



5. 来訪者意識調査 福島潟における利用状況アンケート（予備調査）

◆アンケート用紙

えちごエコネット 福島潟モデルプロジェクト アンケート

越後平野の水辺を中心に環境づくりと地域づくりに取組む事業、「えちごエコネット」（事務局：国土交通省北陸地方整備局）では、福島潟をモデル地区として、豊かな自然環境の活かし方について検討を進めています。今後の取組の参考とさせていただくため、下記のアンケートにご協力下さいますようお願い致します。

1. 福島潟への訪問頻度（当てはまるものに✓を付けてください）

福島潟訪問は何回目ですか？	<input type="checkbox"/> 初めて <input type="checkbox"/> 2回目 <input type="checkbox"/> 3～9回 <input type="checkbox"/> 10回以上	前回訪問はいつ頃でしたか？	<input type="checkbox"/> 1ヶ月未満 <input type="checkbox"/> 半年未満 <input type="checkbox"/> 1年未満 <input type="checkbox"/> 1年以上前
---------------	--	---------------	---

2. 福島潟への今回の訪問目的を教えてください。【複数回答可】

自然文化祭 散歩 ランニング 野鳥観察 花 自然観察 潟舟体験 施設利用 キャンプ 飲食 買物 休憩 観光 イベント運営 保全活動 学校の授業 その他（ ）

3. 今回、福島潟で訪れた、または、訪れる予定の場所を教えてください。【複数回答可】

自然文化祭会場 ビュー福島潟 ラグーンブリュワリー 菱風荘 環境と人間のふれあい館 遊水館 潟来亭 潟舟 キャンプ場 雁晴れ舎（野鳥観察舎） 自然学習園（園路や池のあるエリア） 木遊び広場（遊具） 遊潟広場 オニバス池 その他（ ）

4. 潟来亭のそばで、この夏から「福島潟オープンカフェ」を営業していたことはご存じでしたか？

利用したことがある 知っていたが、利用したことはない 知らなかったが、今度利用してみたい 知らなかったし、今度も利用したいとは思わない その他（ ）

5. あなたが好きな観光地やレクリエーションを下記から選んでください。【複数回答可】

温泉 自然系の公園 山 海 川 花 都市公園 歴史（寺社等） 水族館 博物館・美術館 道の駅 酒蔵 観光農園 市場・直売所 ドライブ ウォーキング ランニング 自転車 釣り カヌー スキー ゴルフ その他（ ）

6. 福島潟を友人や知人にお勧めしたいと思いませんか。

0～10の11段階で点数（数字に○）をつけてください。またその理由もお書きください。

7. 福島潟の魅力を高めるために必要なことは何だと思いませんか？

8. ご回答者様について

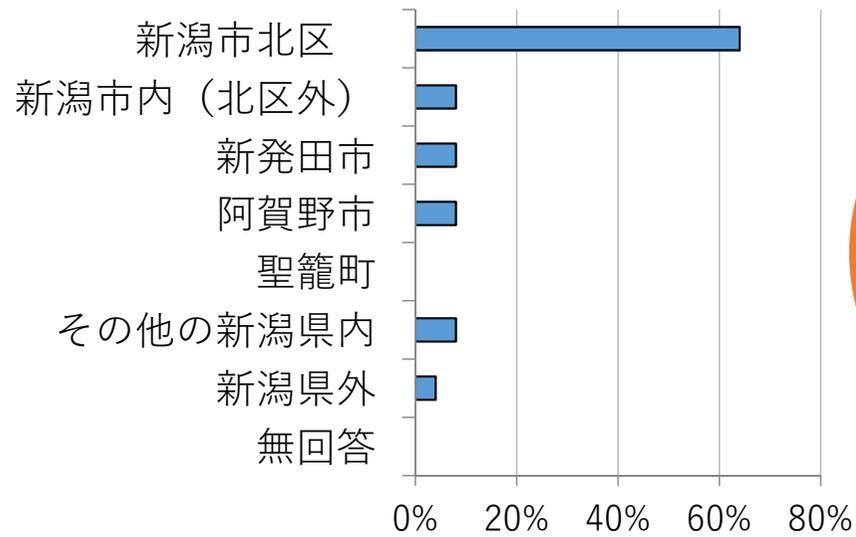
お住まい	<input type="checkbox"/> 新潟市北区 <input type="checkbox"/> 新潟市内（北区外： ） <input type="checkbox"/> 新発田市 <input type="checkbox"/> 阿賀野市 <input type="checkbox"/> 聖籠町 <input type="checkbox"/> その他の新潟県内（ ） <input type="checkbox"/> 新潟県外（ ）
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> その他
年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80代以上

結果概要

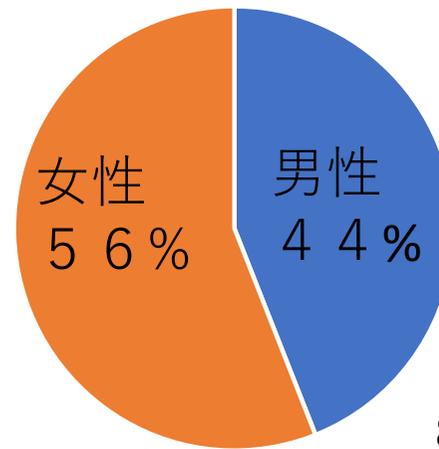
◆実施日・場所 2023年9月23・26・27日（3日間）
潟来亭と雁晴れ舎で実施。 ※9月23日は自然文化祭開催日

◆回答数 25名

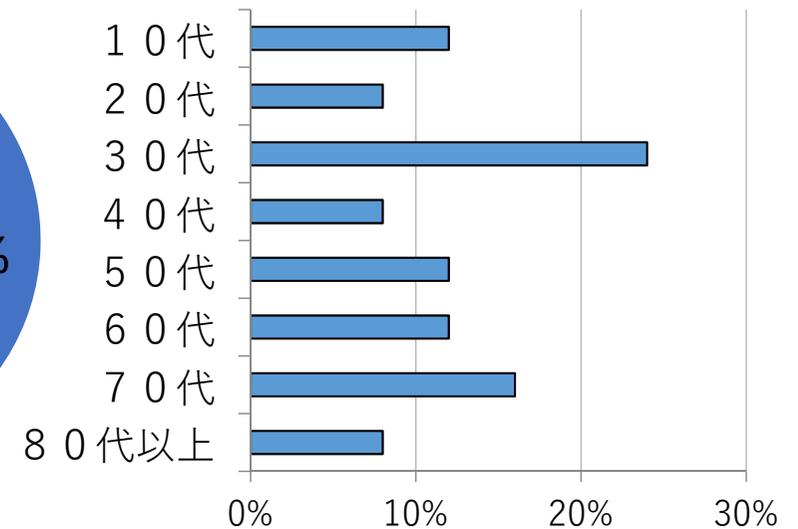
◆回答者の属性



住まい



性別

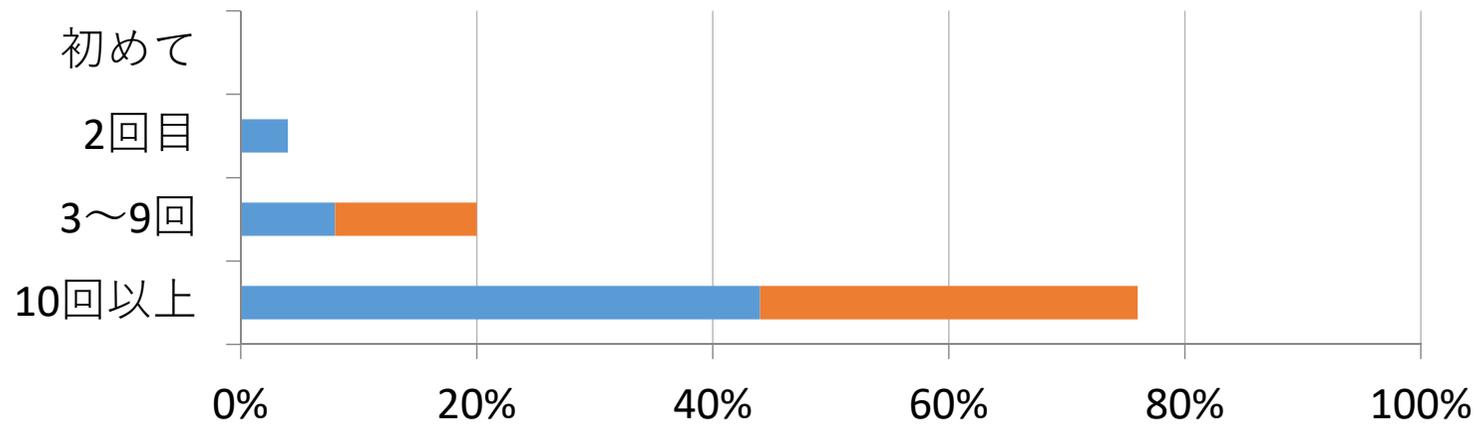


年代

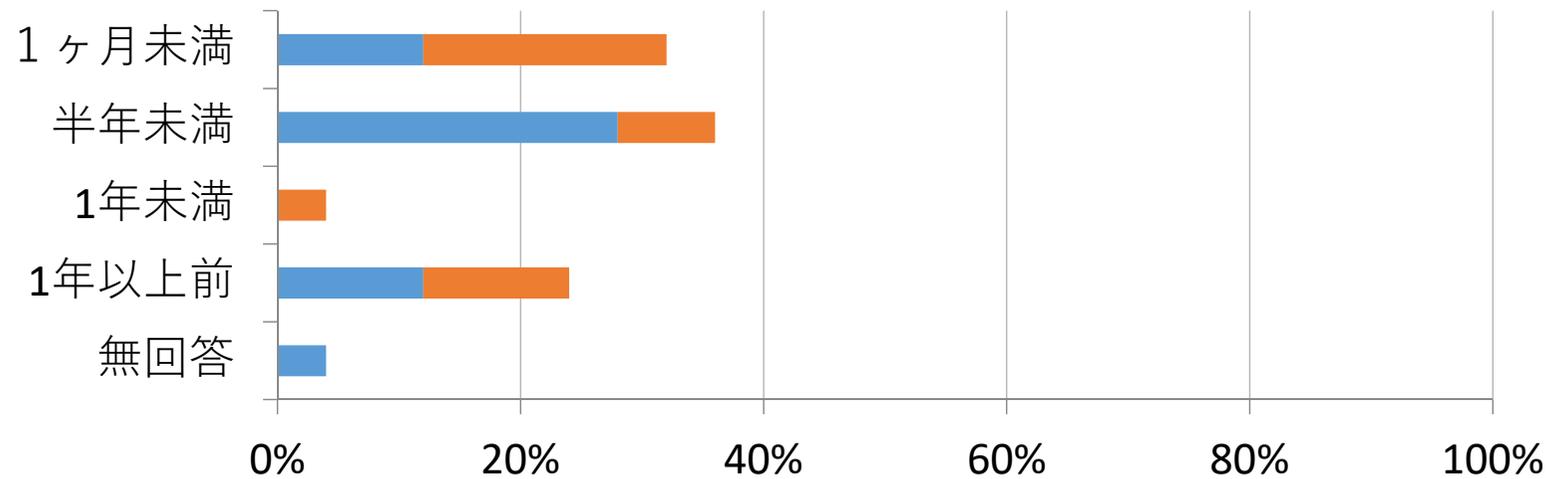
福島潟への訪問回数・頻度

◆福島潟訪問は何回目ですか？

■ 23日 ■ 26・27日

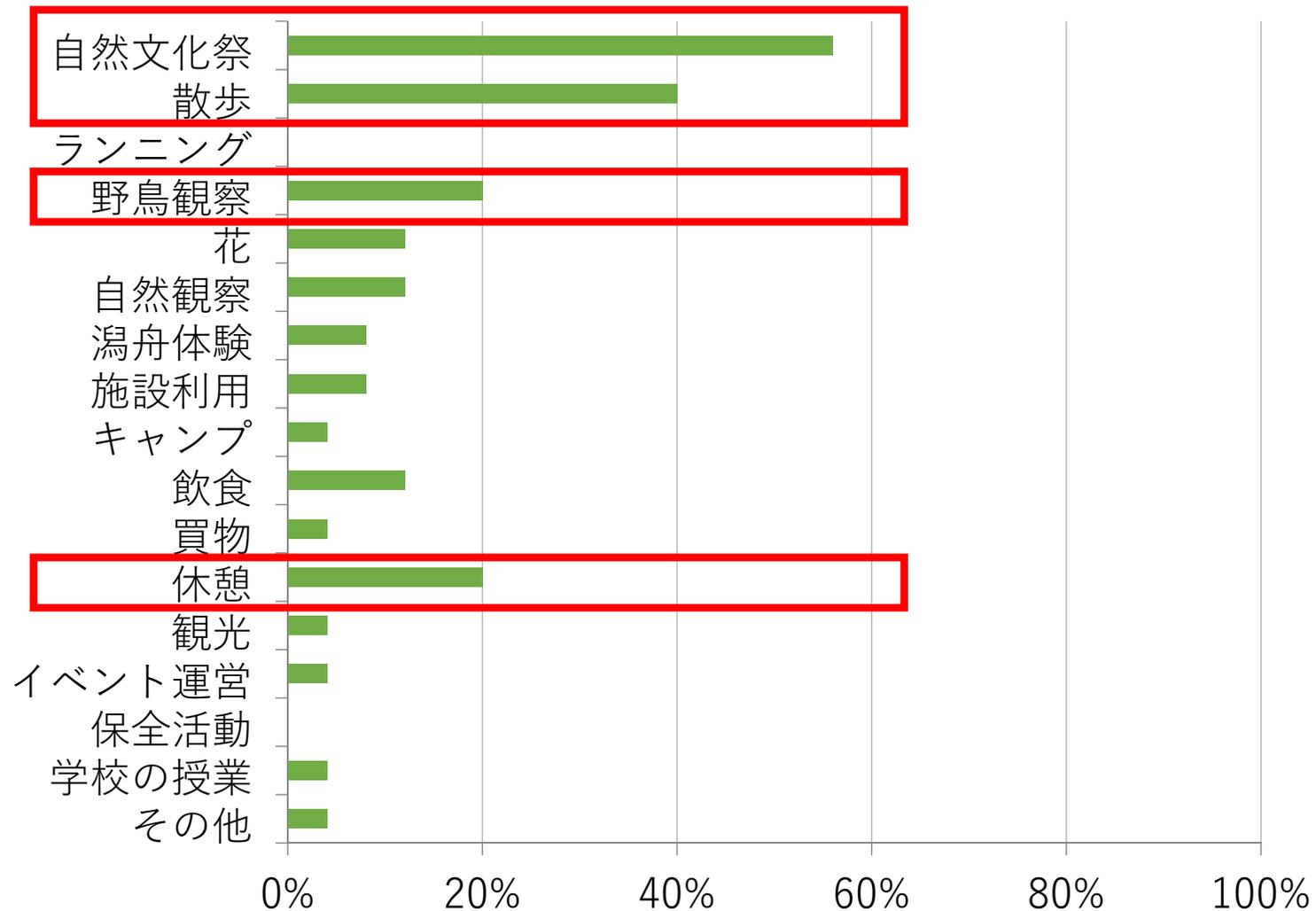


◆前回訪問はいつ頃でしたか？



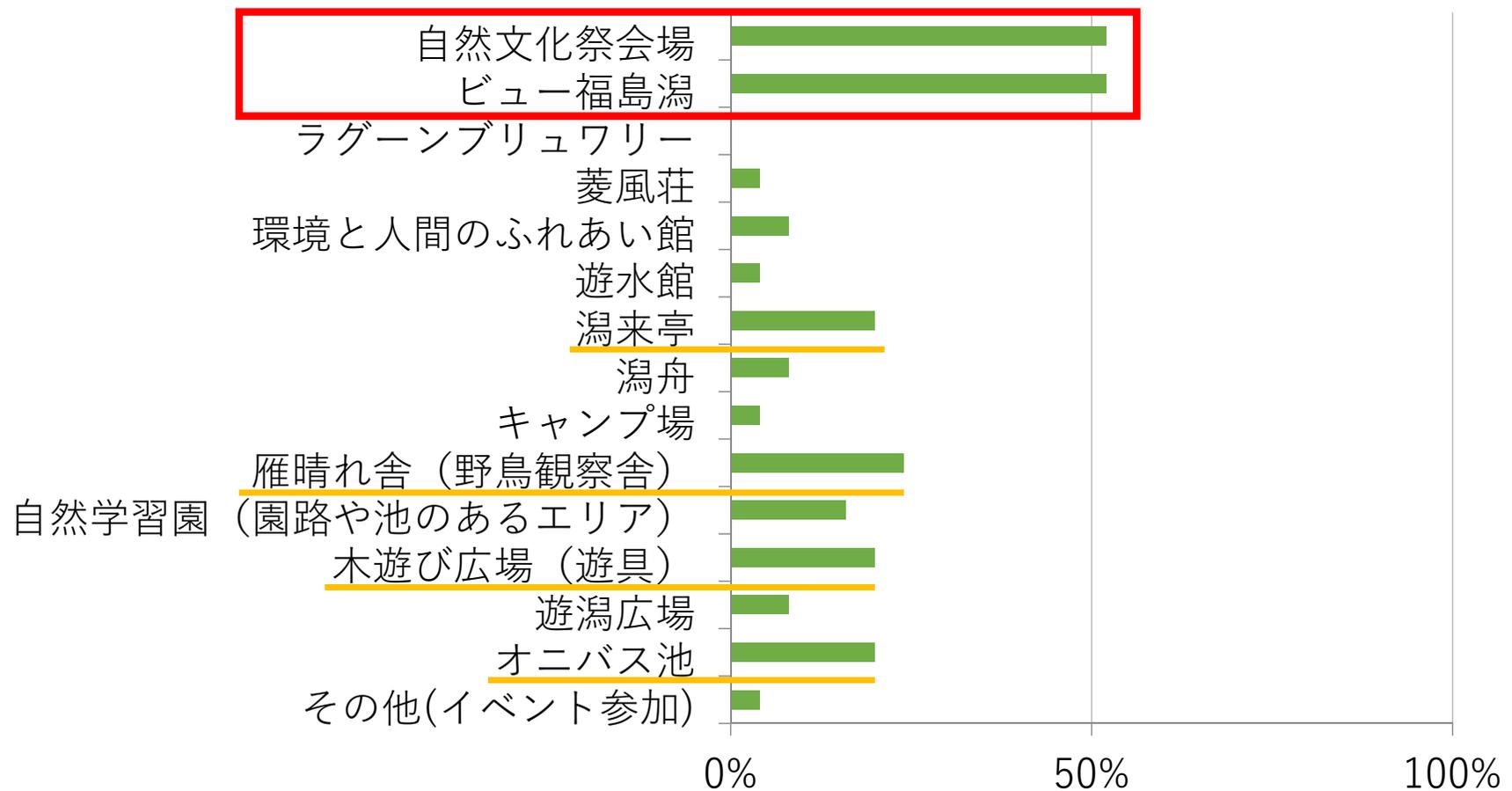
福島潟への訪問目的

◆福島潟への今回の訪問目的を教えてください。【複数回答可】



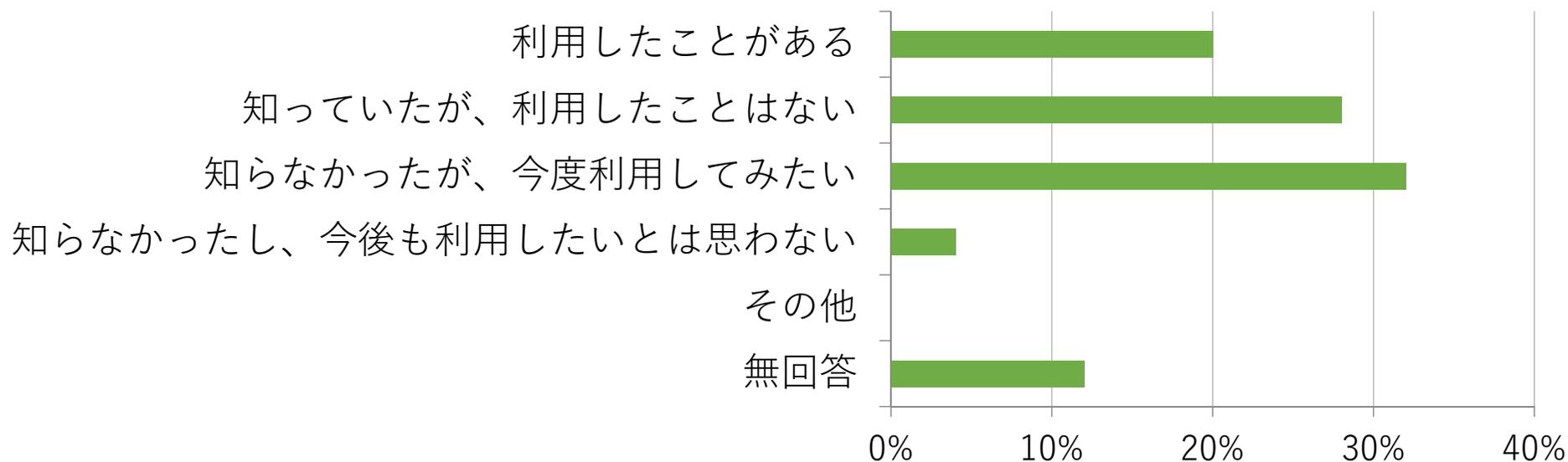
訪問場所

◆今回福島潟で訪れた、または訪れる予定の場所を教えてください。【複数回答可】



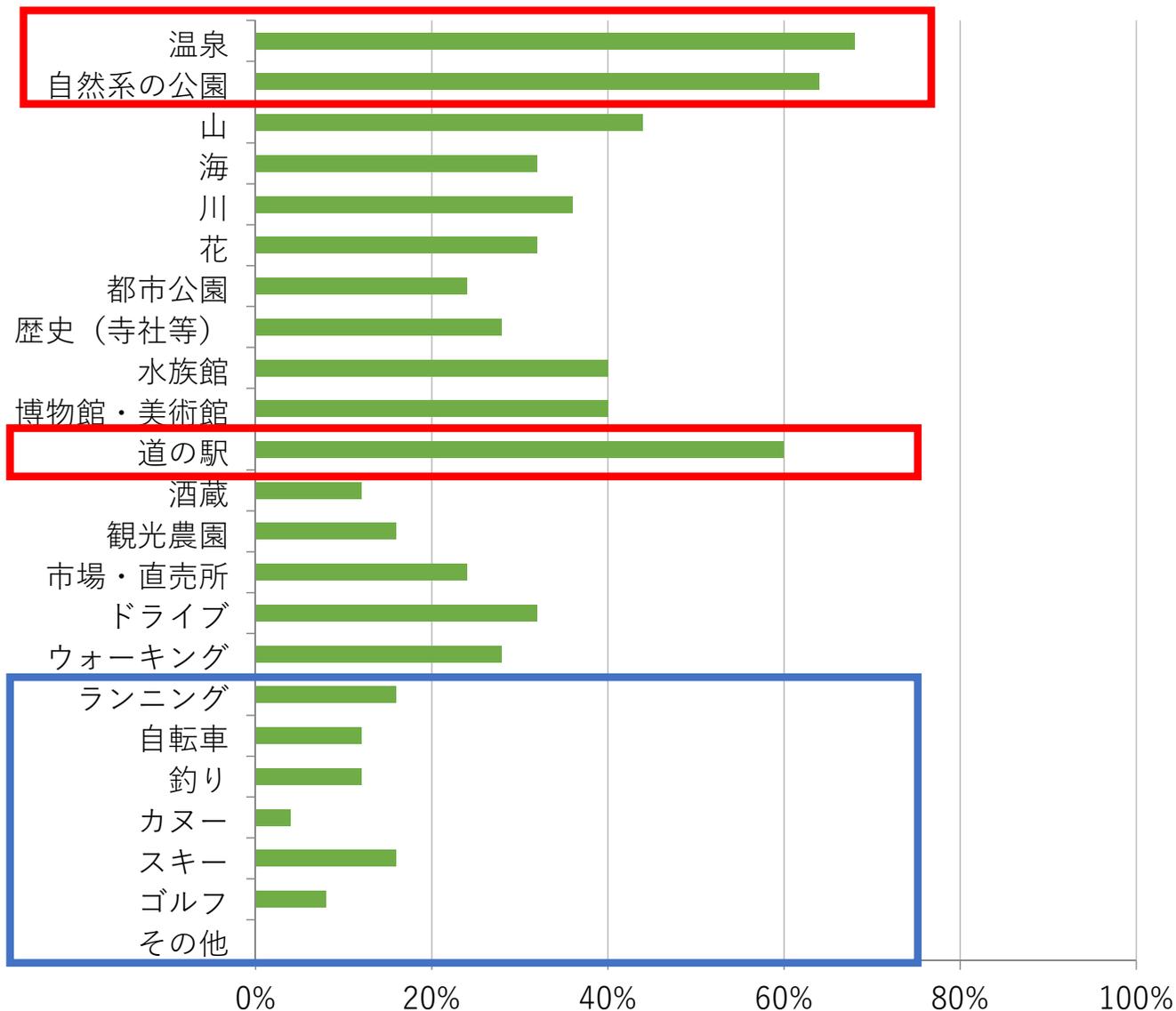
福島潟オープンカフェ認知度

◆ 潟来亭のそばで、この夏から「福島潟オープンカフェ」を営業していたことはご存知ですか。



福島潟訪問者の興味関心

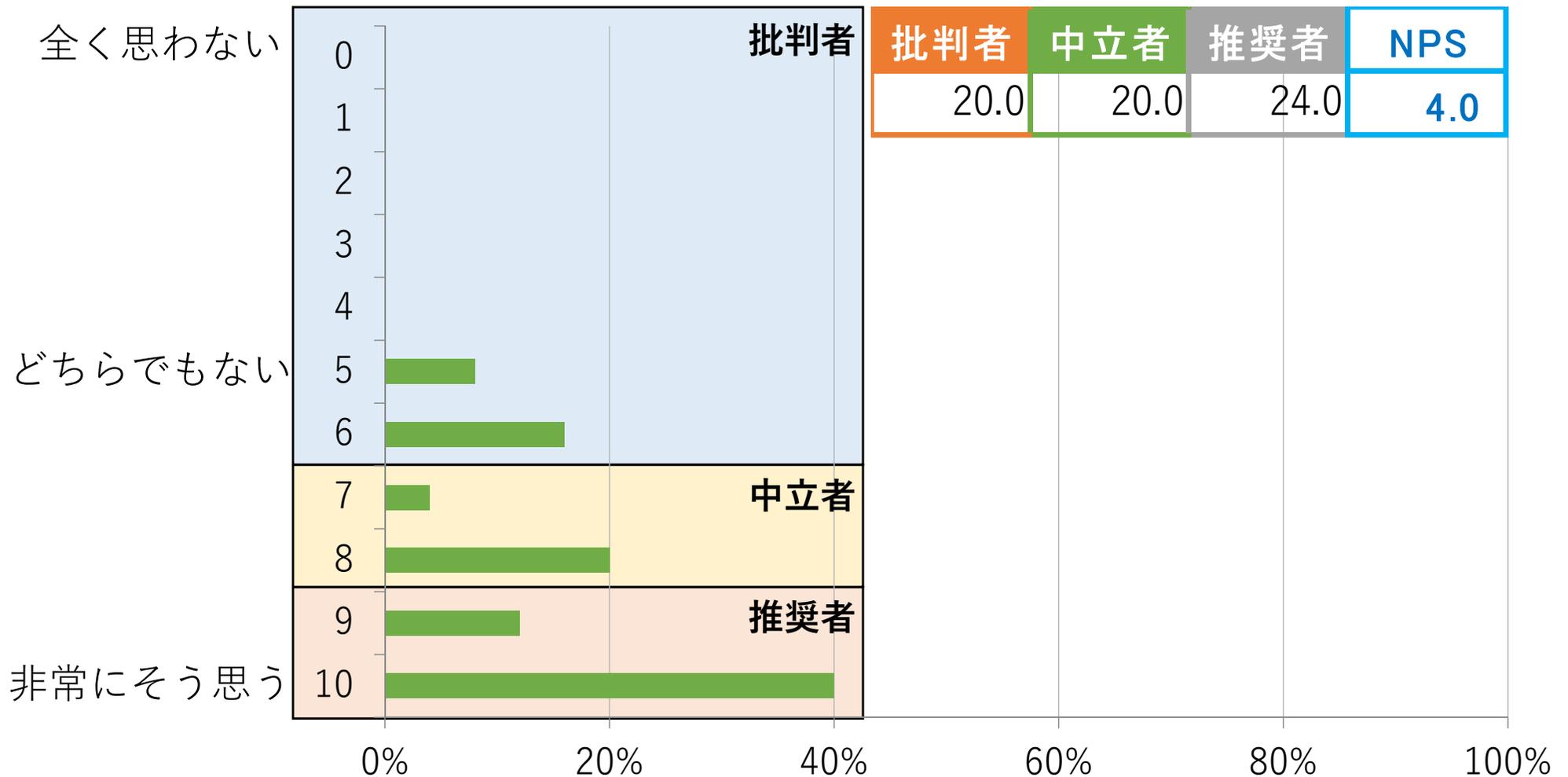
◆あなたが好きな観光地やレクリエーション下記から選んでください。【複数回答可】



福島潟推奨度

◆福島潟を友人や知人におすすめしたいと思いますか。10段階でお答えください。

NPS（ネットプロモータースコア）：商品やサービスに対する信頼・愛着）を測る指標



福島潟推奨理由

◆推奨度（10段階評価）の理由

概ね自然が豊かなところが推奨理由という回答だった。

- ・自然が豊かである
- ・自然豊かで、山脈がよく見えるため。
- ・自然が多くて観光場所も多いから。
- ・自然豊かで、散歩しにあって潟来亭とかで休憩できていいところだと思ったから。
- ・とてもいいところで、きて損はない場所！いい休憩場所にもなり、観光としてもよく、一石二鳥な場所！
- ・自然がとても素晴らしい。のんびりできる。
- ・自然豊かで、いつきても癒される。
- ・一年を通してとても沢山の自然が見れる。
- ・地元のスバラしいところだから
- ・すばらしい潟をもっと皆さん県外の人に知ってもらいたい
- ・自然豊かですし、ゴールデンウィークの菜の花は素晴らしいので、お勧めしたいと思います。ザリガニ釣りやキャンプができるのもいいですね。
- ・四季を通して、屋上からの景色がとても美しく、もっと多くの人に見てもらいたいと思う。野鳥を見たり散歩をしたりといつ来ても楽しめる。
- ・野鳥の宝庫だから。
- ・こどもが遊べる。自然がある。キャンプができる。トイレが多くある。
- ・平日は人も少なくのんびりと過ごせて、良かったです。とてもゼイタクな気持ちになりました。
- ・心が穏やかになる。
- ・これしかない
- ・違うから
- ・ススメたいと思うが、本当に好きなものは教えたくない気持ちもある。

福島潟の魅力向上

◆福島潟の魅力を高めるために必要なことは何だと思いますか。

情報発信・PR

- ・自然体験ツアーなどもっとSNSやチラシで情報を知ったら来やすいかなと思う。
- ・PR ・新潟市外への情報発信を増やす。
- ・小さなことでも少しずつ広めて、地域の人が福島潟の良さを伝えること。
とりあえず色々な人に来てもらうためにも印象に残る場所にする。
- ・もっと、もっと知名度を上げて、全国の人から見て欲しいです。
新潟の人はPRがいまいちです。
- ・広報活動で知ってもらう。一度来てみたら良さが分かる。
- ・もっと多くの人に福島潟の良さを知って欲しい。意外と近くに住んでいても来た事がない人もいるので、そういう人たちにこそ来て欲しい。

イベントの実施・継続

- ・子供が行きやすいイベント（耕作、雪遊び、野鳥観察など）
- ・デイキャンプ+野鳥観察のようなイベント ・キョロ口の森のような体験型もよい。
- ・イベントがあるとやはり”来たい！”と思う。マルシェやオープンカーのイベントがあると集客もあり、散策したいと思う。
- ・今日みたいなイベント（自然文化祭）がいっぱいあったら良いなと思います。
- ・イベントの継続。

福島潟の魅力向上

整備

- ・あまり手を加えずに、散策しやすいように整備をしていただくこと。
- ・毎朝通って、自然の美しさが素晴らしいとおもうので、壊れた橋などはキレイにしてもらえると良いなあと思います。
- ・木製の物、遊具や橋の修理や更新をして欲しい。
- ・建物の整備

その他

- ・いまのままでよい。工事がいいこと。
- ・インスタ映えのスポット。
- ・気軽に集まれるスペースがある。
- ・こんな沼を舟でわたったこともあります。
- ・観光バスも来て欲しい。

6. 食材としての、潟や田んぼの恵みの活用可能性

自然栽培米と加工品

- ・ お米：ふくまるみ・農林22号（上野農場）
亀の尾（ほしの農園）
- ・ どぶろく：翔空サンサンにごり酒 自然栽培亀ノ尾
（ラグーンブリュワリー）
- ・ 菓子：新潟地酒の酒粕ショコラテリーヌ（ルコト）



潟の食材

- ・ ハスの実、ヒシの実、オニバスの茎、モクズガニなど



7. 関連したアクティビティ

「夏の福島潟たいけん合宿」（こどもたいけん合宿）

宿泊場所：蔵の宿「菱風荘」 **日時：2023年7月25日（火）～7月26日（水）**

目的

福島潟の中に位置する宿泊施設で、“福島潟を知る”、“自然を知る”をテーマに活動をする

- ・福島潟の美しさ、自然のすばらしさを体感する
- ・共同宿泊や焚き火や飯ごう炊飯などを体験し、夏の思い出とする
- ・“えちごエコネット”福島潟エリアにおけるモデルプロジェクトにそって福島潟の生態系について学習する

<スケジュール概要>

7月25日（火）		7月26日（水）	
14:00	はじめの会	6:00	起床
14:30	スタンプラリー・自然学習	6:30	朝の散歩・雁晴舎
17:30	夕食・飯ごう炊飯	7:30	朝食、自由時間
18:30	夕涼み、自由時間	9:00	絵手紙日記
19:30	入浴、布団しき	10:30	終わりの会
21:30	就寝	11:00	終了・解散



8. 課題と今後の展開案

・オープンカフェ

結果 湯来亭前で試験的に実施したものの、集客にはつながらなかった。

問題点

- ・実店舗（ラグーンブリュワリー：以下LB）が近くにある中で、オープンカフェを利用する動機づけの弱さ
- ・広報不足

課題

- ・LBとの連携方法の見直し
- ・オープンカフェ以外の方法も含めた誘客手段の検討
- ・広報強化

今後の展開案

- ・LB店舗内に福島湯へ誘導する広報媒体を設置
- ・湯来亭や雁晴れ舎に、LB等への回遊を促す広報媒体を設置
- ・LBの酒蔵見学などと組み合わせた福島湯ツアーの造成や新潟市北区観光協会のバスツアーとの連携
- ・アート作品とのコラボ（次ページ）
- ・関係主体との相互リンクの強化

・マイマップ

結果 標柱にQRコードを貼ることでマップへのアクセス数増加
⇒えちごエコネットサイトへのアクセス増加にも寄与？

今後の展開案

- ・既存チラシ等へのQRコード掲載
- ・他地域でも同様なマップの作成

今後の誘客アイデア（潟来亭や雁晴れ舎等へのアート作品展示）



砂丘館ウェブサイト（足立照久 曲輪の球体展）

作家：足立照久

新潟県内でただ一軒、長岡市寺泊山田で代々にわたり篩(ふるい)や蒸籠(せいろ)、裏漉しなどの曲物を製造する「足立茂久商店」の11代目。

「寺泊山田の曲物」の技術を活かし、従来からの道具にとどまらない新たな作品（中略）を次々と生み出している。



にいがた観光ナビ（寺泊神あかりのタベ）



（雁晴れ舎や潟来亭等で展示できないか）